

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅前2丁目ホテル計画	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	604 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	飲食店、ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2017年2月20日
敷地面積	1,584 m <sup>2</sup>	作成者	馬場圭祐
建築面積	1,208 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月31日
延床面積	10,661 m <sup>2</sup>	確認者	中村治郎



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
景観的な見地では、計画地前面道路のはかた駅前通りと祇園大通りが交差するアイストップとなり得る建物であるため、景観方針に則したシンボリックな建物外観としています。 また、環境面では多くの宿泊客に快適に過ごして頂きながら、省エネルギーやエコに配慮した建物とします。	特になし
<b>Q1 室内環境</b> LED照明を積極的に採用し、各客室の窓面積を適正に確保する等、省エネルギーに配慮した室内環境とします。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 隣地の公園や博多駅前通りの並木道、対面するキャナルシティとの緑化の関係を考慮しながら緑を計画しています。
<b>LR1 エネルギー</b> 空調機等は省エネルギー型の設備を採用します。	<b>LR3 敷地外環境</b> 廃棄物の適切な分別、設備機器の周囲への騒音配慮、過度な外構照明計画とならない様に配慮します。
<b>Q2 サービス性能</b> 設備の機能、更新、維持管理をはじめ、宿泊施設としての快適性を重視した建物とします。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> エコマークや有害物質を使用しない材料の選定に配慮します。また、再生水を利用した給水計画とし、節水につとめます。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される